

財務4表から見た本巢市の特徴

◇純資産比率 = 純資産合計／資産合計

普通会計ベース	89.68%	(前年対比 Δ0.02%)
連結ベース	81.82%	(前年対比 Δ0.36%)

- ・資産のうち、どれだけが市民の持分であるかを示す指標です。
- ・この指標が高いと、過去の世代が有形固定資産の形成コストを負担したことを表し、反対に低いと、将来世代がそのコストを負担しなければならないことを表しています。
- ・一般的には、この数値が高い方がいいとされています。

◇安全比率 = (純資産合計－インフラ資産)／(資産合計－インフラ資産)

普通会計ベース	68.95%	(前年対比 Δ0.40%)
連結ベース	42.97%	(前年対比 Δ3.40%)

- ・経済的取引にはなじまない道路、河川等のインフラ資産を除いた場合の純資産比率です。
- ・地方公共団体の返済能力を検討する指標となり、この数値が高い方がいいとされています。

◇社会資本形成の世代間負担比率 = 純資産合計／有形固定資産

普通会計ベース	96.37%	(前年対比 +0.07%)
連結ベース	87.93%	(前年対比 Δ0.93%)

- ・これまでに蓄積した公共資産を現世代でどれだけ負担したかを示す指標です。

◇市民1人あたりの資産と負債

普通会計ベース	資産	: 412万8千円	(前年対比 Δ3千円)
	負債	: 42万6千円	(前年対比 +1千円)
連結ベース	資産	: 532万6千円	(前年対比 Δ8万1千円)
	負債	: 96万8千円	(前年対比 +5千円)